資料4

新しい総合計画における指標

1　指標設定の趣旨

新しい総合計画に記述された重点施策に対して、県は今後5年間、実際に実施して、成果を出していくことが求められる。

県民が、県の取り組みに対する成果を、正確に理解するためには、成果は、複数の解釈が可能な文章ではなく、客観性を有する数値（＝指標）によって示される必要がある。

2　指標の考え方

数値の増減により、客観的に県の取り組みの成果が分かるもの。

3　指標設定の単位

以下のとおり分類する。

分類	内容	目標値設定の有無
○施策の達成度を測る指標	○県の施策の努力目標	有（H26）
○モニタリング指標	○目標値の設定が困難又は不適当であるが、毎年状況を把握し、公表することが望ましいもの。 （例：児童相談所相談受付件数）	無
○意識調査項目	○重点施策の細分野ごとに、県民の視点から県の取り組み状況を評価する（県政世論調査等）。	無

４　指標の設置数について

（１）新しい総合計画で設定する指標の目安

将来の姿の柱	政策分野	重点施策	重点施策の細分野	指標の設定
4	8	22	62	重点施策の細分野毎に 1～2 程度 ＝　62～124 程度

（２）うつくしま２１との比較

福島県新長期総合計画 「うつくしま２１」重点施策体系 （2006～2010）			新しい総合計画 （2010～2014）
127 （重複分を含めると 133）			62～124 程度
内訳	シンボル指標 施策の達成度を測る指標 モニタリング指標	18 83 26	施策の達成度を測る指標 モニタリング指標

※　現行計画における「シンボル指標」の設定の継続については、今後の検討とする。

（参考）意識調査項目の例

（人と地域が輝く「ふくしま」）

・　Ⅰ－１（２）　あらゆる場面で溌剌とした人々が活躍できる社会の実現
　身近なところで、自分の能力を発揮できる場があると回答した県民の割合

（いきいきとして活力に満ちた「ふくしま」）

・　Ⅱ－１（２）　農林水産業の持つ底力の発揮
　地元産の食材を、積極的に使用していると回答した県民の割合

（安全と安心に支えられた「ふくしま」）

・　Ⅲ－１（２）　安心できる地域医療体制の充実
・　Ⅲ－１（３）　高齢者や障がい者に対する多様な福祉サービスの充実
　身近なところで、必要な医療・福祉サービスを受けることができると回答した県民の割合

（人にも自然にも思いやりにあふれた「ふくしま」）

・　Ⅳ－１（２）　思いやりと支え合いの心に満ちた社会の実現
　普段の生活の中で、孤立感や孤独感を感じることがあると回答した県民の割合